

平成22年度 決算報告書

国立大学法人電気通信大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,314	4,704	△ 610	(注1)
施設整備費補助金	0	159	159	(注2)
補助金等収入	368	416	48	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	29	30	1	
自己収入	3,111	3,121	10	
授業料, 入学料及び検定料収入	2,956	2,927	△ 29	
雑収入	155	194	39	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	888	1,787	899	(注5)
目的積立金取崩	789	406	△ 383	(注6)
計	10,499	10,623	124	
支出				
業務費	9,214	8,258	△ 956	
教育研究経費	9,214	8,258	△ 956	(注7)
施設整備費	29	189	160	(注8)
補助金等	368	416	48	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	888	1,786	898	(注10)
計	10,499	10,649	150	
収入－支出	0	△ 26	△ 26	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、学内プロジェクト等により予算を繰り越したため、予算額に比して決算額が610百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、前年度事業の繰越により予算額に比して決算額が159百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国等からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が48百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、主として科学研究費補助金間接経費の増収により予算額に比して決算額が39百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究の獲得に努めたため、899百万円多額となっています。なお、産学連携等研究収入の決算額については、前年度繰越額69百万円、寄附金収入等の決算額については、前年度繰越額13百万円を含みます。
- (注6) 目的積立金取崩については、事業期間を延長したため、予算額に比して決算額が383百万円少額となっています。
- (注7) 業務費については、学内プロジェクトによる予算の繰越及び、人件費の節減などにより予算額に比して決算額が956百万円少額となっています。
- (注8) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が160百万円多額となっています。
- (注9) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が48百万円多額となっています。
- (注10) (注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額は898百万円多額になっています。当年度に支出した産学連携等研究経費の前年度からの繰越額は69百万円、寄附金事業費の前年度からの繰越額は13百万円です。